MCPC award 2011 奨励賞 株式会社サンモアテック

Androidのセキュリティ課題をクリア

サントリーグループの情報システム部門であるサンモアテックは、グループ社員が時間・場所の制約から解放され、現場で業務を完結できる「リアルタイムなビジネス」の実現を目標としている。

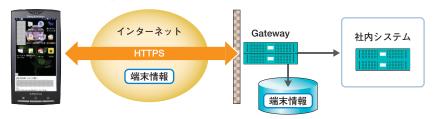
現場で使う端末として、ノートPCの重量や作業スペースなどの課題を乗り越えるスマートフォンには早くから着目しており、2009年にはAndroid端末の導入を決めていた。多くのキャリア、メーカーが支持

しており技術進歩のスピードや適用領域 の拡大にメリットが期待できたこと、同社 に蓄積されたJavaプログラミング技術が 生かせることが理由であった。

しかし、グループ全体での本格活用には、例えば端末からの個体認証が実装されていないなどビジネス利用時のセキュリティ面の脆弱性や、機能面の課題を克服することが欠かせなかった。

そこでサンモアテックは自ら、グループ

図 「Android Biz Suite」における端末の個体認証



DATA業種 情報サービス活用分野 グループ企業の営業活動等における利用Android ミドルウェア 端末

認証 SMS

2010年5月にサービスインした。

独自のセキュリティ基盤として「Android端 末利用基盤(Android Biz Suite)」を開発。

「Android Biz Suite」は大きく次の3つの機能を備えている。

- ① 端末の個体識別情報によるアクセス制 御機能
- ② データ暗号化機能

テクノロジ

③ 遠隔削除機能(特別なSMSメッセージ の送信により端末内全データを削除)

スマートフォンから各種の社内システムに安全にアクセスすることが可能になり、2010年末の段階でNTTドコモの「Xperia」が2000台以上活用されている。外出先での業務を大幅に効率化できた結果、グループ全体では11.7万時間もの有効時間を創出した。